

平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成30年2月13日

上場会社名 株式会社一家ダイニングプロジェクト 上場取引所 東
 コード番号 9266 URL http://www.ikkadining.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)武長 太郎
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理部長 (氏名)高橋 広宜 (TEL)047(302)5115
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の業績（平成29年4月1日～平成29年12月31日）

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	4,682	—	202	—	192	—	128	—
29年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	95.19	90.01
29年3月期第3四半期	—	—

- (注) 1. 当社は、平成29年3月期第3四半期において四半期財務諸表を作成していないため、平成29年3月期第3四半期の実績並びに平成30年3月期第3四半期及び平成29年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。
2. 当社は、平成29年10月12日付で普通株式1株につき20株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、平成30年3月期の期首より株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	3,684	1,000	27.2
29年3月期	2,957	474	16.0

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 1,000百万円 29年3月期 474百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,144	13.4	251	59.9	242	57.1	169	122.4	122.87

- (注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無
2. 当社は、平成29年10月12日付で普通株式1株につき20株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、平成30年3月期の期首より株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期3Q	1,497,000株	29年3月期	1,318,000株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	一株	29年3月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期3Q	1,345,778株	29年3月期3Q	一株

(注) 当社は、平成29年10月12日付で普通株式1株につき20株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、平成29年3月期の期首より株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではなく、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(重要な後発事象)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用情勢や企業収益の改善を背景に、緩やかな回復基調にあるものの、米国政権の動向に対する懸念や地政学的リスクの高まりなど、先行き不透明な状況が続いております。

外食業界におきましては、業界全体として緩やかな回復基調にあるものの、人材不足の深刻化による人件費・採用費の上昇、原材料の高騰や企業間競争の激化など、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社は『あらゆる人の幸せに関わる日本一のおもてなし集団』というグループミッションのもと、より多くのお客様におもてなしによって感動を提供する為に、事業の拡大、優秀な人材の確保及びサービス力向上に注力して参りました。

飲食事業においては、都内を中心に主力業態の新規出店、サービス力向上及び店舗オペレーションの改善、自社アプリ会員の獲得によるリピーター客数の増加に継続して注力してまいりました。新規出店に関しては、都心部への出店（屋台屋博多劇場六本木店、こだわりもん一家渋谷店等）の他、株式会社ダイヤモンドダイニングに開発支援を受け「ガレージダイニングプロジェクト」（駐車場などの遊休地にアメリカから取り寄せたスチールキャビンを設置する出店形式）として出店した屋台屋博多劇場大井町店、埼玉県内への出店（屋台屋博多劇場本川越店）、業態初となる商業施設への出店（屋台屋博多劇場海浜幕張店）を含む直営店10店舗（こだわりもん一家2店舗、屋台屋博多劇場8店舗）を出店し、直営店が合計で46店舗となりました。また、継続的な会員獲得により、リピーター客数も好調に推移しております。

ブライダル事業部においては、婚礼の主力広告媒体との連携強化による来館数・成約率の向上、サービス力向上及びコスト削減、宴席の新規案件の取り込み及びリピート客数の増加、レストランのサービス力、商品力の向上及び新規客数の増加に継続して注力してまいりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間における売上高は4,682,064千円、営業利益は202,642千円、経常利益は192,777千円、四半期純利益は128,099千円となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 飲食事業

売上高は、2,876,964千円、セグメント利益（営業利益）は98,332千円となりました。

② ブライダル事業

売上高は、1,805,100千円、セグメント利益（営業利益）は104,310千円となりました。

なお、当社は前第3四半期累計期間においては、四半期財務諸表を作成していないため、前年同期比は記載しておりません。

(2) 財政状態に関する説明

（総資産）

当第3四半期会計期間末における総資産は、その他の流動資産が57,497千円減少したものの、現金及び預金が453,256千円増加、新規店舗のオープンに伴い有形固定資産合計が244,294千円増加したことなどにより、3,684,038千円（前事業年度比726,589千円の増加）となりました。

（負債）

当第3四半期会計期間末における負債は、買掛金が52,839千円及び1年内返済予定の長期借入金が31,449千円、長期借入金が85,665千円及び資産除去債務が30,829千円増加したことなどにより、2,683,093千円（前事業年度比199,990千円の増加）となりました。

（純資産）

当第3四半期会計期間末における純資産は、新規株式上場に伴う公募増資などにより資本金及び資本剰余金がそれぞれ198,193千円増加したこと、四半期純利益の計上に伴い利益剰余金が128,099千円増加したことなどにより1,000,945千円（前事業年度比526,599千円の増加）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期累計期間における業績が概ね当初計画どおりに進捗していることから、平成30年3月期の業績予想については、平成29年12月12日公表の「東京証券取引所マザーズへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」に記載の予想を変更しておりません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	936,667	1,389,924
売掛金	65,889	91,273
原材料及び貯蔵品	23,077	28,835
その他	182,417	124,919
貸倒引当金	△786	△683
流動資産合計	1,207,264	1,634,268
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,341,529	1,639,599
減価償却累計額	△364,109	△400,313
建物(純額)	977,419	1,239,286
その他	387,896	421,028
減価償却累計額	△213,629	△264,333
その他(純額)	174,266	156,694
有形固定資産合計	1,151,686	1,395,980
無形固定資産	3,704	13,184
投資その他の資産		
敷金及び保証金	355,794	387,998
その他	238,998	249,343
投資その他の資産合計	594,792	637,342
固定資産合計	1,750,184	2,046,507
繰延資産	—	3,262
資産合計	2,957,448	3,684,038

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	121,225	174,064
1年内返済予定の長期借入金	565,895	597,344
未払法人税等	41,608	60,313
その他	478,333	464,021
流動負債合計	1,207,061	1,295,743
固定負債		
長期借入金	1,043,216	1,128,881
資産除去債務	175,838	206,668
その他	56,986	51,800
固定負債合計	1,276,041	1,387,349
負債合計	2,483,102	2,683,093
純資産の部		
株主資本		
資本金	124,200	322,393
資本剰余金	98,200	296,393
利益剰余金	258,151	386,251
株主資本合計	480,551	1,005,037
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△6,205	△4,092
評価・換算差額等合計	△6,205	△4,092
純資産合計	474,345	1,000,945
負債純資産合計	2,957,448	3,684,038

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	4,682,064
売上原価	1,572,225
売上総利益	3,109,839
販売費及び一般管理費	2,907,196
営業利益	202,642
営業外収益	
受取利息	8,173
受取手数料	1,483
その他	1,146
営業外収益合計	10,803
営業外費用	
支払利息	8,486
上場関連費用	10,094
その他	2,087
営業外費用合計	20,668
経常利益	192,777
特別損失	
固定資産除却損	707
特別損失合計	707
税引前四半期純利益	192,070
法人税、住民税及び事業税	66,902
法人税等調整額	△2,932
法人税等合計	63,970
四半期純利益	128,099

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成29年12月12日に東京証券取引所マザーズ市場に上場いたしました。上場にあたり、平成29年12月11日を払込期日とする有償一般募集(ブックビルディング方式による募集)による新株式発行159,000株により、資本金及び資本準備金がそれぞれ179,193千円増加しております。

この結果、当第3四半期会計期間末において、資本金は322,393千円、資本剰余金は296,393千円となっております。

(重要な後発事象)

(第三者割当増資)

当社は、平成29年11月7日及び平成29年11月24日開催の取締役会決議において、SMB C日興証券株式会社が行うオーバーアロットメントによる当社株式の売出しに関連して、同社を割当先とする第三者割当による新株発行を以下のとおり決議し、平成30年1月11日に払込みが完了しました。

(1) 発行する株式の種類及び数	当社普通株式 37,800株
(2) 割当価格	1株につき 2,254円
(3) 払込金額	1株につき 1,912.50円
(4) 資本組入額	1株につき 1,127円
(5) 割当価格の総額	85,201,200円
(6) 資本組入額の総額	42,600,600円
(7) 払込金額の総額	72,292,500円
(8) 払込期日	平成30年1月11日
(9) 割当先	SMB C日興証券株式会社
(10) 資金使途	平成31年3月期の飲食事業における新規出店のための設備投資資金へ充当する予定であります。